

令和2年度 第1回磐田市旧見付学校協議会報告

日 時 令和2年8月17日（月）午前10時～11時10分

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

出席者 兼子会長、大橋副会長、虫生委員、松井委員、金子委員、高橋委員、平野委員、木村委員、村松教育長、市川教育部長、伊東文化財課長、竹内課長補佐、鈴木グループ長、村松主事、匂坂（旧見付学校館長）、長尾

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 事務局紹介

5 議 事

(1) 令和元年度事業報告について

事務局（村松）より説明

入館者数、企画展「旧見付学校歳時記」、入館50万人達成記念式典、昔の授業体験、「キッズのためのクイズラリー」、「かすりの着物で写真撮影&街並散策」、旧見付学校ボランティアの活動、消防訓練、その他 について

(2) 令和2年度事業計画について

事務局（村松）より説明

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、企画展「旧見付学校歳時記」、昔の授業体験（6/21実施予定が中止）、「かすりの着物で写真撮影&街並散策」（9/13実施予定が中止）、旧見付学校ボランティアの活動、消防訓練、その他 について

(質疑)

(委員)

旧見付学校のDVDがあるが、かなり古くなっている。コロナの関係で、旧見付学校に見学に来られなくなった学校に、必要かどうか分からないが、積極的にDVDを貸し出しが出来る体制にしたらどうか。

(事務局)

DVDを借りに来る学校は、あまりいないです。

(委員)

昔の授業体験を市内のネットワークで募集しているが、市外へは、どのような募集の仕方なのか。

(事務局)

ホームページ、ホットラインなどに載せて募集をかけています。市外へ積極的に募集はかけてはいますが、一度来て頂いた方から、口コミや人づてで来て頂くことが多いです。

(委員)

今、ボランティアが 12 名いるとのことでしたが、年齢層はどのくらいで、何らかの資格がないといけないのか。

(事務局)

1 番年配の方が、82、3 歳です。ボランティアの年齢層は、平均すれば、70 代中間ぐらいです。旧見付学校のボランティアを早めに辞められる原因は、階段が登れなくなるからです。

(委員)

ボランティアの方は、写真の説明などしますので、ちょっと勉強して頂く必要はあるが、そんなに難しくありません。ただ、専門的ではないと思われるかもしれません。

(委員)

照明が、LEDになって、近所の人達が、大変喜んでいる。

(会長)

たまには、照明の色を変えてみてはどうか。

(事務局)

前側にフィルムを貼れば、可能だと思います。季節によって、変えるのも面白いと思います。今のところは、白がかなり綺麗に見えますので、あの色でいいかなと思います。

(委員)

旧見付学校のオルガンについて、現在 6 台中の 2 台が使えて、北小移転時の記念のオルガン 1 台が、一部音が出ない。どれか修理が出来ないか。

(事務局)

オルガンの修理については、NHK の修繕番組でやってくれるというのがあり、申込みをしたら却下されてしまいました。現在、その記念のオルガンは、昔の授業体験で使っていて、有効活用できています。

(委員)

旧見付学校の耐震工事の関係で、今後、見通しがどうなっているか。旧見付学校の耐震化など分かっている範囲で教えて頂きたい。

(事務局)

現在、毎年少しずつ状況を確認しています。旧見付学校は、建物自身の耐震と、石積の基礎部分の地盤を確認するという事で、現在データを集めている最中です。今年もその上で、委託をかけるような形で予算は取ってあります。出来るだけ早急にやった方がいいかという事ですが、現在、調

査を進めている段階です。

(会長)

旧赤松家記念館の耐震はどのようなのか。

(事務局)

三和土塀やレンガ塀については、少し危ない可能性はありますが、旧赤松家記念館の建物などについては、新しい建物なので、耐震については、大丈夫だと思います。

(委員)

昭和 19 年の地震の時に、旧見付学校は、例えば、壁が落ちたとか被害が出たのか。

(事務局)

西側の石積の石垣がちょっと崩れましたが、壁が落ちた記録はないです。地震の際に、一番危ないのは火災ですが、消防施設の対策は取れています。

(委員)

以前、文化庁の方が来た時に、旧見付学校は、建物としては丈夫だけど、今の建築基準法に合わせると中が広すぎるという話だった。学校の中に 3 本の柱があるけど、壁自体に耐震性はないです。今後、必要であれば、耐震についていろいろと調べて頂きたい。

(事務局)

耐震補強の方法もいろいろな方法があります。どれが一番、旧見付学校に適しているかどうかを今後、保存活用計画を策定していく予定ですが、その中に入れていきたいと思っています。

(会長)

旧見付学校の入館者が、1 万 4、5 千人いるとの事でしたが、磐田市の見学が出来る建物で考えたら、予算の順序性もあるが、耐震性を一番に考えないといけないのではないか。

(教育長)

危ない状況だったら、入館を確実に止めていくようになると思います。新しい地震が来た時に、普通の家レベルの耐震は保たれているという想定で、入館者を入れていると思います。新しい耐震の規制の中で、学校とかいろいろ昭和 50 年代に大きく変わりましたので、優先順位という事では、難しい状況ではありますが、公共施設なので、出来る範囲でなるべく早めにやっていく必要があります。危ないじゃないかと市民の方から言われたら、開館なのか閉館するのかどちらかを選択する必要があります。必要があると思います。

(委員)

毎朝、旧見付学校を開けている時、磐田文庫も同時に開けていますか。

(事務局)

磐田文庫も同時に開けています。

(委員)

旧見付学校のDVDを市役所の一般ロビーの市民課の所で、流したらいいのではないか。

(事務局)

DVDに関しては、所管に確認して照会をかけて、実現できるように話を調整したいと思います。

(委員)

DVDは、旧見付学校をベースに子供達に歴史背景を分かるように最初の時に作成したものです。

2階にあるのが、「町の風景」で、DVDに移してもらったものがあるのですが、それだと長いです。テープだといつ切れるか分からないので、DVDにとってもらっている状況です。資料としてあるので、それを使っていくかという事です。

(事務局)

市役所のロビーで流すなら、学校にある旧見付学校と磐田文庫の内容の7、8分のDVDが妥当ではないかと思います。

(事務局)

一度、内容を確認し、検討していきたいと思います。

(教育長)

ビデオをお年寄りに見せたって話があったけど、ユーチューブで、簡単に5分ぐらいで旧見付学校の魅力を紹介してみてもどうでしょうか。

(事務局)

今、インターネットで見ると旧見付学校のことをたくさん出ている。旅行社等が発信してくれていて、それを見て市外、県外などから見学に来てくれています。

(委員)

過去にユーチューブもアップされた事もあって、2年ほど前に大進堂が旧見付学校と旧赤松家記念館をドローンで撮ってくれた映像があります。今は、残っているか分からないが、残っていたら出てくると思います。

(教育長)

旧見付学校の何気ない魅力を若い人達の力を借りて、ユーチューブなどの地道な宣伝で、魅力を発信できるのではないかと思います。

以上、11:10 終了